



(後列) 加藤久雄 学長, 長谷部勇一 学長, 田中明彦 学長, 石井 潔 学長
 (奈良教育大学) (横浜国立大学) (政策研究大学院大学) (静岡大学)

(前列) 後藤ひとみ 学長, 山本健慈 専務理事, 栗林澄夫 学長, 山下一夫 学長, 位田隆一 学長, 中井勝己 学長, 林 佳世子 学長
 (愛知教育大学) (国立大学協会) (大阪教育大学) (鳴門教育大学) (滋賀大学) (福島大学) (東京外国語大学)

人文・社会科学系学長懇談会を開催

2019 (令和元) 年10月10日 (木), 鳴門教育大学において国立大学協会の第52回人文・社会科学系学長懇談会が開催され, 10名の学長が参加しました。本学で開催するのは, 2007 (平成19) 年以来, 2度目です。

石井潔静岡大学長の基調報告を皮切りに, 大学改革, AIと倫理, 民主主義などについて活発な意見交換が行われました。翌日は, 大塚国際美術館を見学し, 岡村修二理事の案内のもと展示解説を受けました。

大塚国際美術館には, 1998 (平成10) 年3月の開館当時から, 様々な形で本学に対しご支援いただいています。

2019年8月20日 (火) には, 大塚国際美術館の大塚一郎館長 (大塚ホールディングス代表取締役会長) と田中秋筈常務理事が本学を訪問され, 山下学長をはじめ本学役員らと懇談されました。



大塚国際美術館 (右端: 岡村修二 理事)



(左から) 安部栄一 理事・副学長, 大石雅章 理事・副学長, 田中秋筈 常務理事, 山下一夫 学長, 大塚一郎 館長, 山木朝彦 教授 (大塚美術財団評議員兼務) 大塚館長と山下学長が手にしているのは, 歌川広重『阿波鳴門之風景』の陶板複製。

教員就職率 全国第1位

文部科学省が2019（令和元）年12月に公表した国立の教員養成学部・大学（教員養成課程）の2019年3月卒業者の就職状況において、本学は再び教員就職率全国第1位の栄誉に輝きました。

これまでの学部教員就職率も、2010年から2017年までの8年連続第1位、2018年全国第2位と、常に全国トップクラスです。

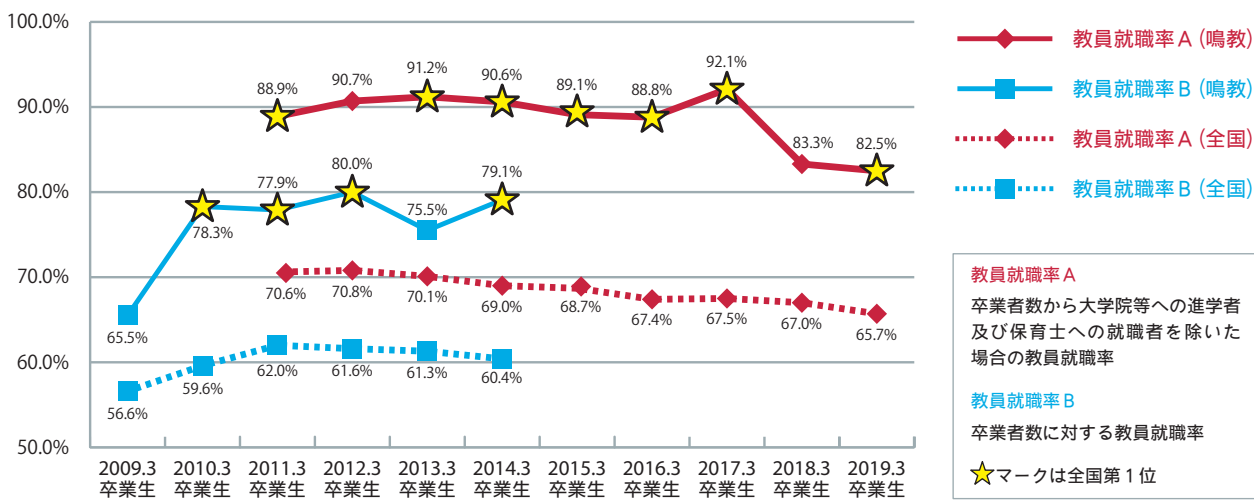
また、教職大学院では、教員就職率85.7%を達成し、

教員に採用された修了生全員が正規採用という本学教職大学院初の快挙を成し遂げています。

なお、2019年3月の学校教育学部卒業生及び教職大学院修了者における教員以外の就職を含めた全体の就職率は、ともに100%であり、本学学生の質の高さが、企業等が求める人材としても認められています。

これからも、本学では、教職の夢を追い続ける卒業生・修了者への支援にも取り組んでいきます。

学校教育学部卒業生の教員就職率の推移（過去11年間）



第6回 鳴門教育大学ホームカミングデーを開催



くすのき しげのり 氏



服部 勝憲 元同窓会長



草下 實 名誉教授

2019年11月2日（土）、第6回ホームカミングデーを開催し、県内外から約100人が出席し、旧交を温め、大いに盛り上がりました。

講師に児童文学作家くすのきしげのり氏（1998（平成9）年度修了生（幼児教育コース））を迎え、講演「一人ひとりがみんなたいせつ—作品に託す願い—」をしていただきました。

教員経験をもとに、「おこだでませんように」（小学館）をはじめとして、学校を舞台とした絵本を数多く手掛ける同氏ならではの内容で、出席した現職教員や教員を目指す学生は、深く感銘を受けていました。

講演会に引き続き、長年にわたって本学の発展に貢献された功労者（服部勝憲元同窓会長、草下實名誉教授）への感謝状贈呈式及び本学と同窓会が共同開催している全国学校教育実践活動コンテスト（第8回）の表彰式が行われました。



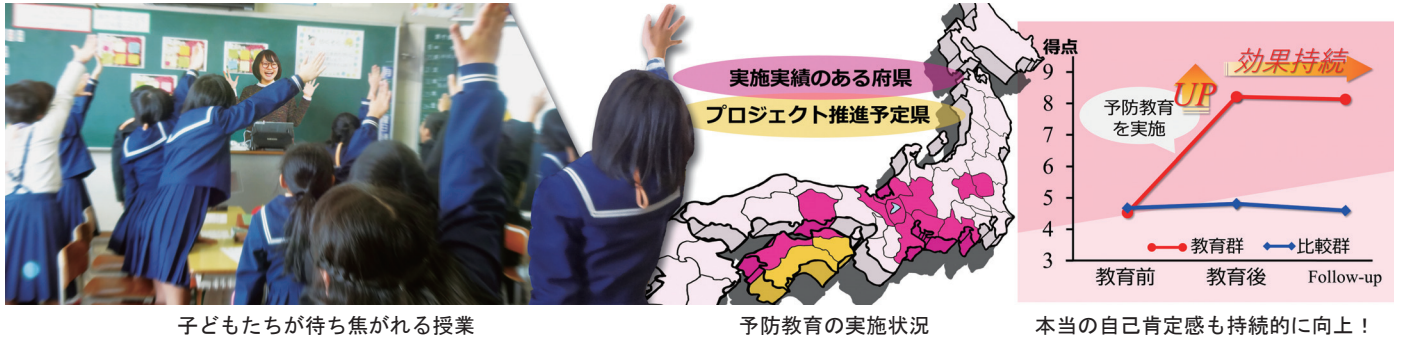
全国学校教育実践活動コンテスト（第8回）受賞者

- | | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 奨励賞
西井 孝明 主幹教諭 | 奨励賞
竹川 久美子 教諭 | 優秀賞
上村 洸貴 教諭 | 最優秀賞
奥沢 忍 教諭 |
|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|

学校予防教育「モデル校先導型推進プロジェクト」全国展開へ(予防教育科学センター)

予防教育は発展し、現在第3世代の開発が進んでいます。第3世代は、理論と子どもへの魅力、そして教育効果は継承しつつ、先生方が簡単に実施できる教育に変貌しました。いじめから勉強面まで、広く問題の予防に挑みます。

この第3世代をもって各府県でモデル校を多数設定し、そこを拠点として普及するプロジェクトを2020年度から開始します。すでに複数の県の教育委員会にご協力いただく予定で、モデル校以外にも多数校で実施されます。



直山木綿子 視学官を招き、英語教育特別講演会を開催



文部科学省初等中等教育局
直山木綿子 視学官

12月14日(土)、文部科学省初等中等教育局の直山木綿子視学官を講師に招き、特別講演会「新学習指導要領における外国語教育を通して、子供につけたい力ー学習評価から見直す指導の在り方ー」を開催し、約130人が参加しました。

直山視学官は、2020年度からの新小学校学習指導要領において、教科として新しい外国語教育が導入されることを踏まえ、今後の英語教育の在り方や具体的な評価方法などについて、授業の実践を交えながら講演され、終了時間いっぱいまで、参加者との熱い質疑応答が行われました。

また、参加した多くの学生にもわかりやすいように、評価だけでなく、外国語教育の目標や指導なども紹介され、大変有意義な講演会となりました。

令和元年度 鳴門教育大学優秀教員表彰式・特別表彰式を挙行

10月1日(火)、令和元年度鳴門教育大学優秀教員表彰式並びに特別表彰式を行いました。優秀教員表彰は教育・学生生活支援、研究等において優秀な教員を、特別表彰は顕著な功労等のあった職員を表彰しています。

優秀教員 (ベストティーチャー賞)



たなか ひろゆき
田中 弘之 教授
芸術・体育系
教科実践高度化コース

保健体育科関係の正課及び課外活動の充実に取り組む。とりわけラグビーフットボール部の監督として同部の活躍を支える。また、徳島県のスポーツ振興の充実に取り組むなど、長年の学内外における専門性を生かした活動実績を評価。



あがた つねひで
阿形 恒秀 教授
生徒指導コース

「BP(いじめ防止支援)プロジェクト」を推進し、いじめ問題研究の発展と学校現場へのいじめ防止支援に取り組み、学校教育における喫緊の課題である「いじめ問題」に積極的に取り組んできた活動実績を評価。

特別表彰



はやみ たかこ
速水 多佳子 准教授
自然・生活系
教科実践高度化コース

長期履修学生支援センターにおける学生支援及び大学院生を中心とした教員採用試験対策の指導、並びに卒業・修了生と交流を続け、教員生活をフォローアップしている活動実績を評価。

秋田公立美術大学と連携協力協定を締結



山下次長と霜鳥秋則秋田公立美術大学長

2019 (令和元) 年 7 月 23 日 (火), 秋田公立美術大学において締結式が挙行政され, 山下一夫鳴門教育大学長と霜鳥秋則秋田公立美術大学長が協定書に署名しました。

本学は, 秋田公立美術大学の設立当初から学術面などで交流があり, 教職課程の充実等においても連携してきました。

これからも, 教員養成をはじめ, 教育・研究や学生・教職員の交流など様々な分野で連携をより深めていき, 教員養成の発展に寄与していきます。

カントー大学 (ベトナム社会主義共和国) と国際学術交流協定を締結



2019年11月25日 (月), 学術, 教職員及び学生交流を一層深めることを目的に, カントー大学 (ベトナム社会主義共和国) と国際学術交流協定及び学生交流実施細目を締結しました。

カントー大学とは, 2015 (平成27) 年10月の同大学国際言語学部 (当時国際学部) のラップ学部長, 教育学部のナム学部長による鳴門教育大学の教師教育システムの視察以来, 5年にわたって両大学間での交流があり, このたびの大学間交流協定締結となりました。

カントー大学は, ベトナム政府が指定する14の優秀大学の一つです。今後急速な発展に伴う理数教育の改善, 子ども中心主義の教育法の開発など多くの教育問題の解決が求められるベトナム・メコンデルタ地域に位置しています。

この協定によるカントー大学からの教員・学生の受入れ及び交流を通じて, 同地域における教師教育を中心とする教育や日本語教育の改善が期待されています。



山下次長とハ タン タン学長



近畿大学と連携協力協定を締結



山下次長と細井美彦近畿大学長

2020年2月18日 (火), 鳴門教育大学において締結式が挙行政され, 山下一夫鳴門教育大学長と細井美彦近畿大学長が協定書に署名しました。

かねてから, 本学と近畿大学の美術・芸術分野の教員間では, 研究作品の発表等において, 交流が続けられてきました。

この協定を機に, 教員養成をはじめ, 教育・研究の向上や学生・教職員の交流など様々な分野での連携協力を推進していきます。

